



## コロナ感染症後の在宅療養とは



平素は格別のご最顧にあずかり、お世話になりまして誠にありがとうございます。  
今月も地域で暮らすお一人おひとりの療養生活を支えられますように、地域連携とおもてなしの心に磨きをかけて参ります。

コロナウィルスとインフルエンザウィルス感染は爆発的な猛威を振るっております。普段の生活で誰でもが感染してしまう状況です。とは言えウィルスとの共存・共生が必要な時代です。基礎疾患のある方は特に自己防衛や免疫力強化が必要でしょうし、皆様も寒い時期ですが、感染予防強化、換気とうがい・手洗いの励行、(マスク着用が賢明)、まめな水分補給、それと、充分な睡眠と栄養で免疫力アップを心がけましょう。今回は、『**コロナ感染症自宅療養後の看護**』というテーマです。病院で応急処置後、入院とはならず自宅療養。安静保持と栄養低下および脱水によって認知症の悪化が起こり、ご本人とご家族が心身とも疲弊しながら、在宅でどのようにケアしたか、ご本人を中心にご家族も含め支援した事例です。療養者の尊厳の保持と自立生活の支援の目的のもとで、自分らしい生活を人生の最後まで続ける事が出来る様、地域の包括的な支援「地域連携・医療連携」が大切だと考えます。ホームページも毎月更新しております。『ネットワーク訪問ナースステーション』で検索すると、一番上に出てきますので、是非覗きにきてくださると嬉しいです♡



U様 76歳男性 糖尿病・認知症・コロナ感染症陽性。介護認定申請中。特別訪問看護指示書発行で医療保険適用。突然熱発で救急車で病院搬送。救急処置後帰宅。自宅療養していたが嚥下困難食欲低下あり、水も咽て飲めない、立ち上がれないと奥様があんしんすこやかにご相談に行き、すぐ支援要請あり訪問医療、訪問看護、訪問介護、訪問薬剤師、福祉用具利用となる。脱水症状と認知症の悪化で、ADLの急激な低下で点滴開始し、体力を戻し、経口摂取できるように支援する。羸瘦著明、尿失禁で衣類寝具汚染あり、右大転子部に褥瘡形成。すぐに福祉ベッドと防水シーツ導入。排尿痛でベッドから転落しベッド柵を装着、点滴開始後尿漏れが酷いためおむつ着用に変更。脱水症状の改善や呼吸状態の改善のため、連日点滴施行と口腔ケア・排痰介助、嚥下訓練、水分補給ゼリー摂取の介助、可動域低下予防のリハビリや身体保清を連日複数回訪問で行い、奥様にも介護指導を行い、チームの一員となって頂いた。医療介護連携SNS(MSC)で連携を図り、ワンチームとして、それぞれの役割を果たしていった。情報や指示が早く、素早い対応ができた。結果的には、途中で回復の兆しが見えたが、2週間の在宅療養後「苦しくない、大丈夫」と言い、眠るように永眠なされた。主治医も駆けつけ最期を診てくださった。エンゼルケアを奥様と行いながら、グリーフケアでいろいろな思いを伺った。ご家族は「お父さんにやってあげられる事は全部できたと思います。家で看取れて本当に良かったと思います。大変な思いをして初めて地域のサービスを知りました。手を貸してくださった皆さんがいなかったら、心が折れそうな時が何度もあり、助けられました。本人も苦しまずに、本当にありがとうございました。」と笑顔で話された。訪問看護師として求められる事や目標を共有し、限られた時間で行動し、どんな言葉で地域に発信して行くかを考える機会を与えてくれた事例でした。今後も安心、安全、安楽、安寧に住み慣れた自宅での生活を楽しんで頂けるように支援し、情報発信して参ります。(鳩山)



神経難病、認知症、精神疾患、がんターミナル、看護師によるリハビリ等を特に得意としております。悩んでいるご利用者に**医療相談**や**訪問看護お試しサービス**を無料で行っております。お気軽にお問い合わせください



**24時間対応**

**ターミナルケア・お看取りも対応いたします**

**訪問地域** **その他の地域もぜひご相談ください!**  
世田谷区  
松原・代田・代沢・豪徳寺・梅ヶ丘・宮坂・経堂・赤堤  
杉並区  
永福・和泉・浜田山・下高井戸

〒156-0043  
世田谷区松原2-41-15エテルノ明大前203  
ネットワーク訪問ナースステーション  
TEL:03-6762-2272  
FAX:03-6767-3703  
03-6379-0684

